



乾期作の収穫が始まる!

成果 1: 栽培技術



<ブルトでの収穫イベント>

1. 播種後80日目の生育調査

ブルトのFFS対象農家23名中20名、およびマリアナIの全対象農家60名に対する播種後80日目の生育調査を行った。全体的に多くの参加農家で多くの分けつ数が観察され、高い収量が期待される。

2. Farmers Field School (FFS) 乾期作

マリアナI地域の農業普及員と共に、病害虫防除と種子生産に関する第4回目のFFSワークショップおよび収穫に関する第5回目ワークショップを実施した。各回のワークショップで、全対象農家60名中34名以上の農家がワークショップに参加した。

3. 収穫イベント

収穫イベントを農業普及員とFFS参加農家と共に、ブルトとマリアナIにおいて実施した。イベントでは、FFSのモデル農家が自身の栽培経験や技術を参加者に共有・発表すると共に、収量調査の暫定結果も共有された。また、農業省は、公式収量数値として、5.3トン/haと発表した。

成果 2: 灌漑管理



<ブルトでの区画用地図作成>

1. 農家台帳作成 (Farmers Register List: FRL)

ブルトとマリアナIでの農家台帳が完成し、各灌漑地域での地主人数、耕作者人数、耕作面積が概ね以下の表のように判明した。

灌漑スキーム	地主人数	耕作者人数	耕作面積(Ha)
ブルト	810	723	607
マリアナ I	1,381	1,346	1,277

※上記数値は暫定値

2. 区画用地図作成

各圃場(筆)と耕作者を紐づける区画用地図の作成を試行的に開始した。この試行結果により、灌漑スキーム全体分の区画用地図を作成するか判断する。

成果 3: 物流と販売 (民間)



<アセルダ社による籾買取りの支払い>

1. アセルダ社のメンバーシップ (2021年)

アセルダ社がメンバーシップ登録農家から籾を購入しその代金を支払うことを、引き続き支援した。例えば、農家の希望日に籾購入ができるよう購入日調整を支援した。

2. チャクブ農家組合およびアセルダ社のメンバーシップ(2022年)

チャクブ組合とアセルダ社が対象村毎にワークショップ開催することを支援し、参加農家は栽培技術や、肥料や農薬などの必要な農業投入財について話し合った。また、メンバーシップに登録する農家はグループを形成した。

3. コメ品質管理研修

コメ品質管理の西野短期専門家が9月14日および15日にチャクブ農家組合のスタッフ2名、アセルダ社のスタッフ2名、National Logistic CenterのマリアナI倉庫の職員4名に対して、コメ品質管理研修を実施した。また、ブルトとマリアナIより計25農家より籾サンプルを採集し分析を行うと共に、同農家の栽培や収穫後処理に関するインタビュー調査を行った。

成果 4: 買取と配布 (政府)



1. National Logistic Center (NLC)による籾買取りに関する説明会

NLCはブルト地域において、籾買取りに関する説明会を実施した。NLCは、籾の新価格(\$ 0.52/Kg: 農家が籾最低3トンをNLC倉庫に直接搬入する場合)だけでなく精米の新価格(\$ 1.00/Kg: 農家が精米をNLC倉庫に直接搬入する場合)についても説明した。また、NLCは農家だけでなく、県知事はじめ地元行政関係者に対しても情報を共有し、籾や精米のNLCへの販売協力を依頼した。

<コメ買取り価格に関するNLCによる地元行政職員への説明>